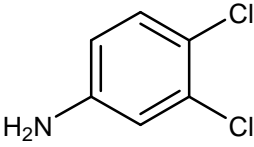


2	CAS 番号：95-76-1	物質名：3,4-ジクロロアニリン																												
化審法官報公示整理番号：3-261（ジクロロアニリン） 化管法政令番号*：1-156（ジクロロアニリン） 構造式： 分子式：C ₆ H ₃ Cl ₂ N 分子量：162.02																														
																														
*注：平成 21 年 10 月 1 日施行の改正政令における番号																														
1. 物質に関する基本的事項 本物質の水溶解度は 92.0mg/L (20℃)、分配係数 (1-オクタノール/水) (log Kow) は 2.69、蒸気圧は 9.75 × 10 ⁻³ mmHg (=1.3Pa) (20℃) である。生物分解性 (好氣的分解) は BOD 分解率で 0% であり、濃縮性が無いまたは低いと判断される物質である。また、分子構造から、環境条件下での加水分解は予期されない。 本物質は化学物質審査規制法第三種監視化学物質に指定されている。またジクロロアニリンは、化学物質排出把握管理促進法 (化管法) 第一種指定化学物質に指定されている。主な用途は、農薬 (除草剤) の原料、染料中間体とされており、ジクロロアニリンとしての平成 19 年度における製造 (出荷) 及び輸入量は 10 ~ 100t/年未満、化管法における製造・輸入量区分は、1t 以上 100t 未満である。																														
2. ばく露評価 化学物質排出把握管理促進法 (化管法) 第一種指定化学物質ではないため、排出量及び移動量は得られなかった。Mackay-Type Level III Fugacity Model により媒体別分配割合の予測を行った結果、大気、水域、土壤に等量排出された場合、土壤に分配される割合が多い。 水生生物に対するばく露を示す予測環境中濃度 (PEC) は、公共用水域の淡水域では 0.68μg/L 程度、海水域では 0.1μg/L 未満程度となった。																														
3. 生態リスクの初期評価 急性毒性値は、藻類では珪藻類 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> の生長阻害における 96 時間 EC ₅₀ 450μg/L、甲殻類ではオオミジンコ <i>Daphnia magna</i> の遊泳阻害における 48 時間 EC ₅₀ 54μg/L、魚類ではニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> の 96 時間 LC ₅₀ 1,940μg/L、その他の生物ではネッタイシマカ <i>Aedes aegypti</i> の 96 時間 LC ₅₀ 4.37μg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 100 を適用し、急性毒性値に基づく予測無影響濃度 (PNEC) 0.54μg/L が得られた。 慢性毒性値は、藻類では緑藻類 <i>P. subcapitata</i> の生長阻害における 72 時間 NOEC 1,250μg/L、甲殻類ではオオミジンコ <i>D. magna</i> の繁殖阻害における 14 日間 NOEC 2.5μg/L、魚類ではグッピー <i>Poecilia reticulata</i> の繁殖阻害 / 成長阻害における 182 日間 NOEC 2μg/L 未満、その他の生物ではノリコイソメ科 <i>Ophryotrocha diadema</i> の死亡・成長・繁殖における 38 日間 NOEC 3μg/L が信頼できる知見として得られたためアセスメント係数 10 を適用し、慢性毒性値に基づく予測無影響濃度 (PNEC) 0.2μg/L 未満が得られた。本物質の PNEC は、魚類の慢性毒性値から得られた 0.2μg/L 未満を採用した。 PEC/PNEC 比は淡水域で 3.4 超となるため、詳細な評価を行う候補と考えられる。																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">有害性評価 (PNEC の根拠)</th> <th rowspan="2">アセスメント係数</th> <th rowspan="2">予測無影響濃度 PNEC (μg/L)</th> <th colspan="2">ばく露評価</th> <th rowspan="2">PEC/PNEC 比</th> <th rowspan="2">PEC/PNEC 比による判定</th> <th rowspan="2">評価結果</th> </tr> <tr> <th>生物種</th> <th>急性・慢性の別</th> <th>エンドポイント</th> <th>水域</th> <th>予測環境中濃度 PEC (μg/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">魚類 グッピー</td> <td rowspan="2">慢性</td> <td rowspan="2">NOEC 繁殖阻害 / 成長阻害</td> <td rowspan="2">10</td> <td rowspan="2"><0.2</td> <td>淡水</td> <td>0.68</td> <td rowspan="2">>3.4</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>海水</td> <td><0.1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (μg/L)	ばく露評価		PEC/PNEC 比	PEC/PNEC 比による判定	評価結果	生物種	急性・慢性の別	エンドポイント	水域	予測環境中濃度 PEC (μg/L)	魚類 グッピー	慢性	NOEC 繁殖阻害 / 成長阻害	10	<0.2	淡水	0.68	>3.4			海水	<0.1	-
有害性評価 (PNEC の根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (μg/L)	ばく露評価			PEC/PNEC 比	PEC/PNEC 比による判定				評価結果																	
生物種	急性・慢性の別	エンドポイント			水域	予測環境中濃度 PEC (μg/L)																								
魚類 グッピー	慢性	NOEC 繁殖阻害 / 成長阻害	10	<0.2	淡水	0.68	>3.4																							
					海水	<0.1				-																				

4. 結論

	結論	判定
生態リスク	詳細な評価を行う候補と考えられる	

[リスクの判定] ○ : 現時点では作業は必要ない、 △ : 情報収集に努める必要がある、 × : 詳細な評価を行う候補、 × : 現時点ではリスクの判定はできない

() : 情報収集を行う必要性は低いと考えられる、() : 情報収集等の必要があると考えられる、(-) : 評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合を示す